

入札説明書

県営住宅(子育て支援グレードアップ改修住宅)の広報業務に係る一般競争入札(以下「入札」という。)の実施については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 入札に付する事項

(1) 業務の名称

県営住宅(子育て支援グレードアップ改修住宅)の広報業務

(2) 仕様

別添仕様書のとおり

(3) 契約期間

契約の日から令和7年3月31日(月)まで

2 入札参加資格

入札に参加できる者は、次に掲げる要件を全て満たしていることについて、契約担当者による確認を受けた者であること。

- (1) 物品関係入札参加資格者として、兵庫県(以下「県」という。)の物品関係入札参加資格(登録)者名簿(以下「名簿」という。)に登録されている者であること。ただし、名簿に登録されていない者で、入札参加を希望し物品関係入札参加資格者の認定を求める場合は、所定の物品関係入札参加資格審査申請書に関係書類を添え、兵庫県出納局物品管理課へ持参(郵送不可)し入札参加資格の随時申請を行い、認定された者であること。

上記随時申請による場合、参加申込みに物品関係入札参加資格審査申請書の写し及び申請を受理されたことが確認できる書類(到達確認を印刷した「到達確認通知」等)の写しの添付が必要なため、速やかに手続きすること。

手続方法や提出書類等、詳細は下記に問い合わせること。

【入札参加資格審査窓口】

兵庫県出納局物品管理課(電話番号:078-341-7711(内線4947))

- (2) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)(以下「施行令」という。)第167条の4の規定に基づく県の入札参加資格制限基準による資格制限を受けていない者であること。
- (3) 一般競争入札参加申込書兼競争参加資格確認申請書(以下「申込書」という。)の提出期限日及び当業務の入札の日において県の指名停止基準に基づく指名停止(以下「指名停止」という。)を、を受けていない者であること。
- (4) 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づく更生手続開始の申立て及び民事再生法(平成11年法律第225号)に基づく再生手続開始の申立てがなされていない者であること。

3 入札者に求められる義務

この入札に参加を希望する者は、申込書に前記2(1)の資格を有することを証明する書類を添付して、令和7年1月16日(木)午後5時までに後記4(1)の場所に提出すること。

また、開札日の前日までの間において、契約担当者から提出書類に関し、説明を求められた場合は、それに応じること。

4 入札参加の申込み

(1) 提出場所

〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通4丁目18番2号 兵庫県公社館3階
兵庫県まちづくり部公営住宅管理課 担当 井上、太治野
電話番号 (078) 341-7711 (内線 4890)

(2) 提出期限

令和7年1月9日(木)から同年1月16日(木)まで

(持参の場合は兵庫県の休日を定める条例(平成元年兵庫県条例第15号)第2条第1項に規定する県の休日(以下「県の休日」という。)を除く。)

午前9時から午後5時まで(正午から午後1時までを除く。)

(3) 提出書類

ア 申込書を作成のうえ前記(1)に持参又は郵送(書留郵便に限る。)又は民間事業者による信書の送達に関する法律(平成14年法律第99号)第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便(以下「郵送等」という。)により提出すること。

イ 前記2(1)の事実を確認するため、県出納局が登録時に送付した「物品関係入札参加資格審査結果通知書(以下「審査結果通知書」という。)」の写しを申込書に添付すること。

ウ 物品関係入札参加資格審査に申請中の場合、前記イに代えて物品関係入札参加資格審査申請書の写し及び申請を受理されたことが確認できる書類(到達確認を印刷した「到達確認通知」等)の写しを添付すること。

※ウを提出する場合は、イの審査結果通知書を手次速やかに、遅くとも入札日時(下記8の郵送等の場合はその期限)までに提出すること。

(4) 入札参加資格の確認

ア 入札に参加できる者の確認基準日は、前記(2)の最終日とする。

イ 入札参加資格の有無については、提出のあった申込書及び関係書類に基づいて確認し、その結果を令和7年1月21日(火)午後5時までに申込者に文書(一般競争入札参加資格確認通知書(以下「確認通知書」という。))等で通知する。

そのため、返信用封筒(定型長3封筒に110円切手を添付し、返信先の住所を記載したもの。)を入札参加申込書に添えて提出すること。

(5) その他

ア 申込書、関係書類の作成及び提出に係る費用は、申込者の負担とする。

イ 提出された申込書及び関係書類は、入札参加資格の確認以外には、申込者に無断で使用しない。

ウ 提出された申込書及び関係書類は、返却しない。

エ 申込書の提出期限日の翌日以降は、申込書及び関係書類の差し替え又は再提出は認めない。

5 契約手続において使用する言語及び通過

日本語及び日本国通貨

6 契約条項を示す場所及び日時

(1) 場所 前記4(1)に同じ。

(2) 日時 前記4(2)に同じ。

7 入札・開札の場所及び日時

(1) 場所 兵庫県公社館 2 階会議室

(2) 日時 令和 7 年 1 月 2 7 日 (月) 午後 2 時

(3) その他

ア 申込書の代表者欄に記入した者以外の者が入札する場合は、申込書 4 の権限を行使する者欄に、入札当日に参加し権限を行使する者を記入すること。

イ 入札書の押印廃止に伴い、入札会場にて入札する者の本人確認を行うため、顔写真付き公的書類を持参すること。

本人確認ができない場合には入札参加できないため注意すること。

ウ 入札前に確認通知書の写しを提出すること。

8 入札書の提出方法

入札書は、入札日時に入札箱に投入すること。ただし、郵送等による場合は、入札書を封筒に入れて密封の上、その封皮に「入札書」と表記の上、それぞれ「入札事項名」、「初度入札」・「再度入札(2 回目)」・「入札辞退届(当初又は途中で辞退する場合)」の区別を記入し、令和 7 年 1 月 2 4 日 (金) 午後 4 時まで前記 4 (1) の場所に必着すること。

ただし、名簿に登載されていない者で前記 2 (1) のただし書の申請を行った者が、資格審査の終了前に入札書を提出した場合は、その者が入札の日時までに「一般競争入札等に参加する者に必要な資格等 (昭和 41 年兵庫県告示第 149 号)」に基づく資格を有すると認められなければ受理できない。

9 入札書の作成方法

(1) 入札書は日本語で記載し、金額については日本国通貨とし、アラビア数字で表示すること。

(2) 入札書は所定の別紙様式によること。

(3) 入札書の記載に当たっては、次の点に留意すること。

ア 業務名は、前記 1 (1) に示した件名とする。

イ 年月日は、入札書の提出日とする。

ウ 入札者の氏名は、法人にあっては法人の名称又は商号及び代表者の氏名とする。

エ 代理人が入札する場合は、入札開始前に委任状を入札執行者に提出し、入札者の氏名の表示並びに当該代理人の氏名があること。

(4) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 10 に相当する額を加算した金額 (当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。) をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。万一誤って記載したときは、新しい入札書を使用すること。

(5) 入札執行回数は、2 回を限度とし、初度の入札において落札者がいない場合は直ちに再度の入札を行う。

(6) 一度提出した入札書は、これを書換え、引換え又は撤回することはできない。

(7) 本件の入札公告に示す入札手続等を十分承知のうえ入札すること。

10 仕様書等に関する質問

- (1) 入札説明書、仕様書等交付書類に関して疑問がある場合は、次により文書（交付する様式）で質問すること。
 - ア 提出場所 前記4(1)に同じ。
 - イ 提出期間 前記4(2)に同じ
- (2) 質問に対する回答は、令和7年1月21日（火）午後5時までに入札参加者にメールで通知する。

11 入札保証金及び契約保証金

(1) 入札保証金

入札保証金の納入を求める場合、契約希望金額（入札書記載金額の100分の110。消費税及び地方消費税相当額を加算した額）の100の5以上の額を、令和7年1月23日（木）正午までに納入しなければならない。ただし、保険会社との間に県を被保険者とする入札保証保険契約を締結し、その保険証書を入札保証金に代えて提出した場合は、入札保証金の納付が免除される。

保険期間は本件入札の参加申込後で、令和7年1月23日（木）以前の任意の日を開始日とし、令和7年2月3日（月）以降の任意の日を終了日とすること。

入札書を郵送等で提出する場合には、合わせて入札保証金の納入通知書兼領収書の写し、又は入札保証保険証書を前記8の期限までに前記4(1)の場所に提出すること。

開札日に入札書を持参する場合は、公営住宅管理課から送付する確認通知書の写しと合わせて入札保証金の納入通知書兼領収書の写し、又は入札保証保険証書を提出すること。

入札保証金又は入札保証保険証書の保険金額が、契約希望金額（入札書記載金額の100分の110。消費税及び地方消費税相当額を加算した額）の100分の5未満であるときは、当該入札は無効となるので注意すること。

(2) 契約保証金

契約保証金の納入を求める場合、契約金額（入札書記載金額に消費税及び地方消費税相当額を加算した金額）の100分の10以上の額の契約保証金を契約締結日までに納入しなければならない。ただし、保険会社との間に県を被保険者とする履行保証保険契約を締結しその保険証書を契約保証金に代えて提出した場合等は、契約保証金を免除する。

12 開札

開札は、入札執行後直ちに、入札者又はその代理人を立ち合わせて行い、入札者又はその代理人が立ち会わない場合においては、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。

13 無効とする入札

- (1) 前記2の入札参加資格がない者のした入札、入札に求められる義務を履行しなかった者のした入札、申込書又は関係書類に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は、無効とする。
- (2) 入札参加資格のあることを確認された者であっても、入札時点において資格制限期間中にある者、指名停止中である者等前記2に掲げる入札参加資格のない者のした入札は無効とする。
- (3) 無効の入札を行った者を落札者としていた場合は、その落札決定を取り消す。

14 落札者の決定方法

- (1) 前記1の業務を履行できると契約担当者が判断した入札者であって、財務規則（昭和39年兵庫県規則第31号）第85条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、政令第167条の10第1項の規定に該当すると県が判断する時は、最低価格の入札者以外の者を落札者とする場合がある。
- (2) 落札者となるべき同価の入札をした者が2者以上ある場合は、くじによって落札者を決定することとし、落札者となるべき同価の入札をした者は、くじを引くことを辞退することはできない。なお、入札書を郵送等した者にあつては、立会人がくじを引くこととする。
- (3) 予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札をする。
- (4) 再度の入札をしても落札者がいないとき又は落札者が契約を結ばないときは、随意契約による。

15 入札に関する条件

- (1) 入札書は、所定の日時及び場所に持参し、又は郵送等し到達していること。
- (2) 入札保証金（入札保証金に代わる担保の提供を含む。）を求める場合、所定の日時まで提出されていること。ただし、入札保証金に代えて入札保証保険証書を提出する場合は、保険期間が令和7年2月4日（火）までであること。
- (3) 入札者又はその代理人が同一事項について2通以上した入札でないこと。
- (4) 同一事項の入札において、他の入札者の代理人を兼ねた者又は2人以上の入札者の代理をした者の入札でないこと。
- (5) 連合その他の不正行為によってされたと認められる入札でないこと。
- (6) 入札書に入札金額、入札者の氏名があり、入札内容が分明であること。なお、代理人が入札をする場合は、入札書に代理人の記名があること。
- (7) 代理人が入札をする場合は、入札開始前に委任状を入札執行者に提出すること。
- (8) 入札金額は前記1(1)について総価（消費税及び地方消費税相当額を除く。）を記入すること。
- (9) 入札書に記載された入札金額が訂正されていないこと。
- (10) 再度入札に参加できる者は、次のいずれかの者であること。
 - ア 初度の入札に参加して有効な入札をした者
 - イ 初度の入札において、(1)から(9)までの条件に違反し無効となった入札者のうち(1)、(4)又は(5)に違反して無効となった者以外の者

16 入札の中止等及びこれによる損害に関する事項

天災その他やむを得ない理由により入札の執行を行うことができないときは、これを中止する。また、入札参加者の連合の疑い、不正不穏行動をなす等により入札を公正に執行できないと認められるとき、又は競争の実益がないと認められるときは、入札を取り消すことがある。これらの場合における損害は、入札者の負担とする。

17 契約書の作成

- (1) 落札者は、契約担当者から交付された契約書に記名押印し、落札決定の日から7日以内に契約担当者に提出しなければならない。ただし、やむを得ない事情により7日以内に提出できない場合は、契約担当者の承認を得ること。
- (2) (1)の期間内に契約書を提出しないときは、落札はその効力を失うことになる。

- (3) 契約書は2通作成し、双方各1通保有する。
- (4) 契約書の作成に要する費用はすべて落札者の負担とする。ただし、契約書用紙は交付する。
- (5) 落札決定後、契約締結までの間に落札した者が入札参加の資格制限又は指名停止を受けた場合は、契約を締結しない。

18 監督及び検査

監督及び検査は、契約条項の定めるところにより行う。

なお、検査の実施場所は、指定する日本国内の場所とする。

19 その他注意事項

- (1) 申込書又は関係書類に虚偽の記載をした者は、県の指名停止基準により指名停止される。
- (2) 入札参加者は、刑法（明治40年法律第45号）、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等関係法令を遵守し、信義誠実の原則を守り、いやしくも県民の信頼を失うことのないよう努めること。
- (3) 暴力団排除条例（平成22年兵庫県条例第35号）の趣旨を徹底し、暴力団排除を進めるため、契約者には、「ア 暴力団又は暴力団員に該当しないこと、イ 暴力団及び暴力団員と密接な関係に該当しないこと、ウ ア・イに該当することとなった場合は契約を解除し、違約金の請求等についても異議を述べないこと」を旨とする誓約書の提出を求めることとする。
- (4) 契約にあたり、最低賃金額以上の賃金支払いをはじめ、労働関係法令を遵守し、業務に関する労働者の適正な労働条件を確保することについて、誓約する書類の提出を求めることとする。

20 交付書類

- (1) 入札説明書（本資料）
- (2) 一般競争入札参加申込書兼競争参加資格確認申請書
- (3) 入札書
- (4) 委任状
- (5) 入札辞退届
- (6) 質問書
- (7) 見積書（入札不調時協議用）
- (8) 仕様書
- (9) 契約書（案）
- (10) 入札の注意事項

21 契約事務担当部局

〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通4丁目18番2号 兵庫県公社館3階
兵庫県まちづくり部公営住宅管理課 井上、太治野
(電話番号：078-341-7711 内線 4890)